

達成度：R5.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

こども課の目標（令和4年度）自己評価書

こども課長 清宮 美雪

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 学校施設設備の整備及び公有地化の推進（庶務班）</p> <p>各小中学校の学校施設については、経年的老朽化が進行していることから、「学校施設長寿命化計画」に基づき維持管理するとともに、企画財政課(施設総合管理室)とも連携し、学校施設等の計画的な整備方法等について検討を行います。</p> <p>なお、酒々井中学校のグラウンド拡張整備については、費用対効果など踏まえつつ事業計画の具体的な検討を行うとともに、必要となる用地について地権者の理解を得るための交渉等を行います。</p>	4	<p>第2期町個別施設計画の策定（令和5年3月）と合わせ、町施設の約6割を占める教育委員会所管施設に関し、「教育委員会における施設の在り方の検討」を開催、その中で学校施設等についても検証を行いました。</p> <p>酒々井小学校グラウンドの借地の公地有化については、関係者を通じ、地権者の意向確認等実施しました。</p> <p>また、酒々井中学校グラウンドの拡張等整備に向けて、学校現場の意見なども踏まえた最良の対処方策等について現状等把握に努め、具現化に向けた調整を図りました。</p>
<p>2 子ども教室の運営（子育て支援班）</p> <p>令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響から、事業運営に大きな影響を受けてきた。令和4年度は、子どもたちの安全・安心を最優先に、教室への参加人数の調整及び現場への情報共有を行うなど感染症予防対策を徹底し、ウィズコロナの考えのもと、より多くの開催を目指して、安全に楽しく子どもたちの居場所を提供できるよう努めます。</p>	4	<p>令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響から大人数にならないように、4月からは1年生から3年生までを対象に毎月開催することができました。9月より全学年が利用できるようにしました。</p> <p>酒々井小学校 30日開催 1日当たり平均54人参加 大室台小学校 17日開催 1日当たり平均55人参加</p>

3 地域子ども・子育て支援事業の推進（子育て支援センター）

「子育て支援センターあいあい」を拠点とし、利用者の皆さんの安全・安心を最優先に感染症予防対策など徹底しつつ、専門的な知見と利用者目線の双方の視点から、切れ目のない支援を実施するため関係課との連携を図り、利用者が利用しやすい施設の運用に努めます。

4

・新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じることで、地域子育て支援拠点事業として、外部講師や地域ボランティア等の協力によりイベントを実施することで施設利用者数が増加するとともに、それに伴い保護者同士の交流や地域での情報交換などに結びつけることができました。

・利用者支援事業で相談を受けた内容に関して、保健センターと情報を共有し連携を図ることにより、利用者の皆さんの支援に繋げることができました。

・ファミリー・サポート・センター事業では、放課後の預かりや塾・保育園までの送迎が主な活動内容となっており、会員数・活動件数ともに昨年度より増加しました。

【参考】

*地域子育て支援拠点利用者(あいあい)延べ2,933人
(しょうえんこどもこそだてルーム)延べ916人

*利用者支援事業 相談件数 409件

(巡回相談：保健センター乳幼児健診 年18回・しょうえんこどもこそだてルーム年1回実施)

*ファミリー・サポート・センター事業 利用会員66名、協力会員23名、両方会員6名、実施件数103件